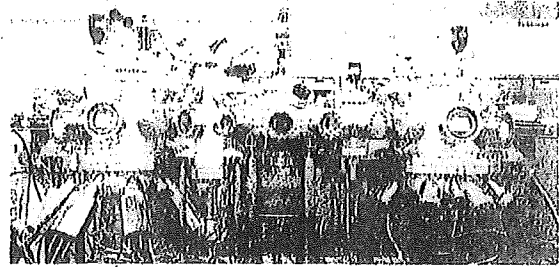


# 半導体関連②

## 累計100 台目の MBE装置を受注

### エピックエスト

### 酸化炉やCVD装置など新製品も商品化



豊橋技術科学大学に納めたMBE装置

窒化物系アルミセルを開発中で、うちテュアルセルは年内納入が決定。光セルの開発は、(株)中小企業ベンチャー振興基金から認定を受け、研究開発助成金を交付された。同社は、世界で初めてSi用高温Kセルを開発・商品化した実績があり、多彩なセルを商品化することでユーザへの研究開発の自由度を高めることに

今期は、窒化物系短波長デバイス用や国家プロジェクト関連、動きの出始めた光通信分野向けの受注が伸び、五台の受注、売上高五億円を見込んでいる。来期はSiC用CVDや窒化物用MOCVD、新商品である酸化炉などが売上に貢献してきている。また、エピウエハー作成の事業化を検討しており、装置ユーザであるデバイスメーカーとの協力を仰いでいくことも視野に入れている。

(株)エピックエスト(京都府亀岡市篠町王子下上牧三二一六、☎0771-219146六六、前野弘志社長)は、このほど累計出荷台数一〇〇台目となる大型MBE装置を受注した。さらに新製品であるVCSSEL製造用酸化炉を発売したほか、新型Kセルなど研究開発にも注力。エビ事業への進出を検討するなど、積極的な事業展開を図っている。

同社は、八四年に発足した旧新電機の事業部門を前身として二〇〇〇年六月に設立された。世界的にも珍しいMOCVDとMBE両方を手がける装置メーカーで、装置にとまらずKセルや制御電源などの部材、メンテナンスや改造・移設などのサービスも提供。研究開発や小規模量産向けをターゲットとして、ユーザの要望に応じた特殊分野で強みを発揮している。

一〇〇台目となるMBE装置は、OPECを研究開発している豊橋技術科学大学から受注した。同社のMBE装置は、真空搬送室を中心にしたマルチチャンバーが特徴。超高真空下で三六〇度搬送できる三段アーンプボットを自社開発しており、装置の拡張性を実現している。主なMBE装置のラインナップとして、研究用に「RC1100」「R

貢献していく考え。

野に入れている。

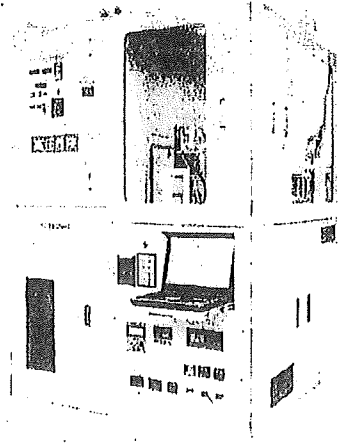
C2100」量産用「PC3400」がある。

開発した量産用酸化炉「VOX300」は、光通信用に開発が進むGaaS系VCSSELの量産に最適。三インチ枚葉処理(二インチ複数枚可)に対応し、マスフローコントローラーで純水の供給量を精密に制御することで、高精度な酸化狭窄プロセスを実現する。すでに受注を得ており、一月末のデモ機完成に向け作業を急いでいる。その他、一・三ミ角にすべての機能を収めた「オール・イン・ワンCVD装置」も商品化した。

エピックエスト

## オール・イン・ワンCVD装置を発売

### 1.3 m角の低フットプリント・低価格を実現



オール・イン・ワンCVD装置

(株)エピックエストは、一・三ミ角にすべての機能を収めたコンパクトな「オール・イン・ワンCVD装置」を発売した。価格は五〇〇〇万円。

採用することでプロセスユニット部、ガス制御部、シリンドリカルキャビネット部、電機制御部を一・三ミ角の低フットプリントに設置した研究開発用装置。横型円筒石英リアクターを搭載

し、二インチウエハーの枚葉処理ができる。高周波誘導加熱方式で一五〇〇℃まで加熱可能。

ガス制御部は、MFCによる流量制御でラン／ベントバルブ切替方式を採用。キャビネットには、オリックトルシリンドリカル三本を搭載できる。プロセス排気は、カニカルブラスターポンプとロータリーポンプを搭載。シーケンサーによるインターロック機能、異常時処理機能、PCを用いた自動成長プログラミンク機能も搭載した。

主な仕様は、外形寸法一三〇〇×三〇〇×二二〇〇mm、重量七五〇kg、必要電力三相・二〇〇V・一五〇A、冷却水四〇リットル／分MAX、圧縮空気圧力約五kg/cm<sup>2</sup>。